

平成14年11月8日
日 本 銀 行
情 報 サ ー ビ ス 局

「生活意識に関するアンケート調査」(第15回)の結果

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに伺う一種の世論調査です。

(調査概要)

- ・調査実施期間：平成14年9月20日～9月30日
- ・調査対象：全国の20歳以上の個人
- ・標本数：4,000人(有効回答者数3,138人<有効回答率78.5%>)
- ・抽出方法：層化2段無作為抽出法
- ・調査方法：設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

1. 景況感等

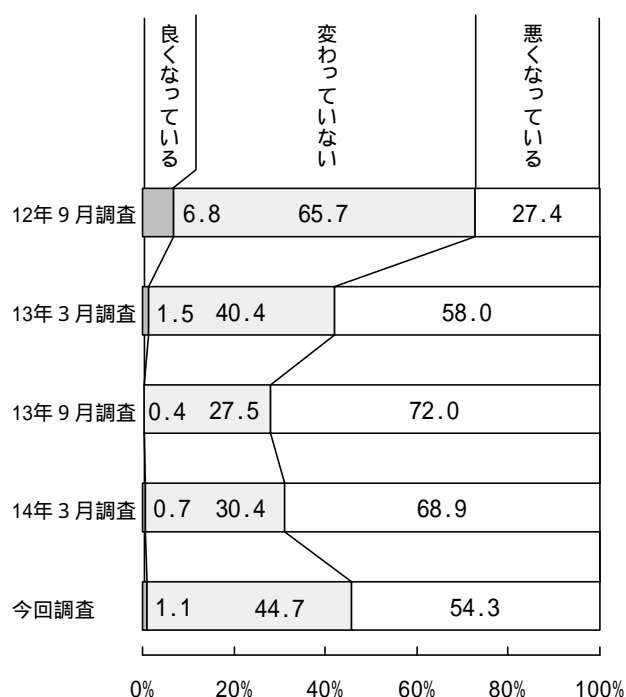
(1) 景況感

景況感（1年前対比）については、D.I.（「良くなっている」 - 「悪くなっている」）は、前回調査に比べ改善した（前回比+15%ポイント）。もっとも、改善の内容をみると、「良くなっている」との回答がほとんど増加しない一方、「悪くなっている」との回答が減少している。

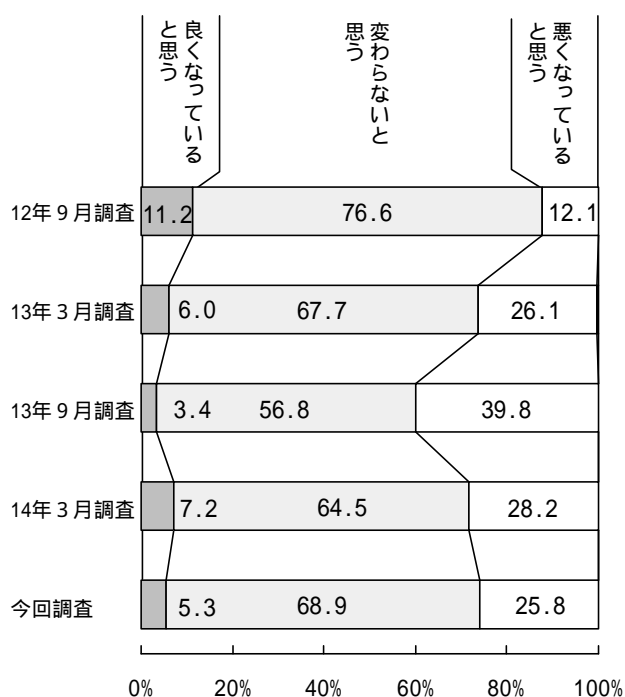
一方、1年後までの先行きに関するD.I.（「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」）は前回調査並みの水準となった。

(図表1) 景況感(%) [問2、5]

< 現在を1年前と比べると >



< 1年後を現在と比べると >



< 景況感D.I.の推移 >

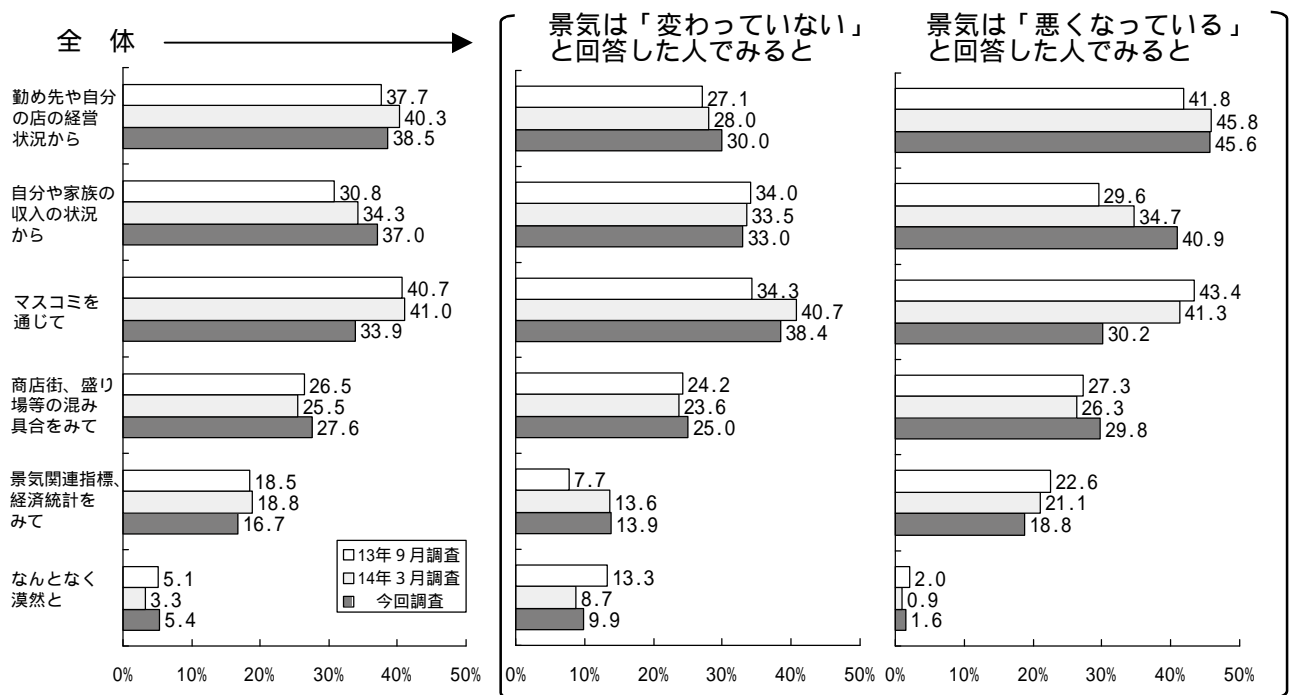
	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	13年9月調査	14年3月調査	今回調査
現在	-23.0	-30.2	-70.5	-77.8	-51.5	-35.9	-29.8	-20.6	-56.5	-71.6	-68.2	-53.2
(前回比)		(-7.2)	(-40.3)	(-7.3)	(+26.3)	(+15.6)	(+6.1)	(+9.2)	(-35.9)	(-15.1)	(+3.4)	(+15.0)
1年後の予想	-2.2	-24.8	-21.6	-20.1	-1.3	-1.4	0.2	-0.9	-20.1	-36.4	-20.9	-20.5
(前回比)		(-22.6)	(+3.2)	(+1.5)	(+18.8)	(-0.1)	(+1.6)	(-1.1)	(-19.2)	(-16.3)	(+15.5)	(+0.4)

(2) 景気判断の方法と景気の受け止め方

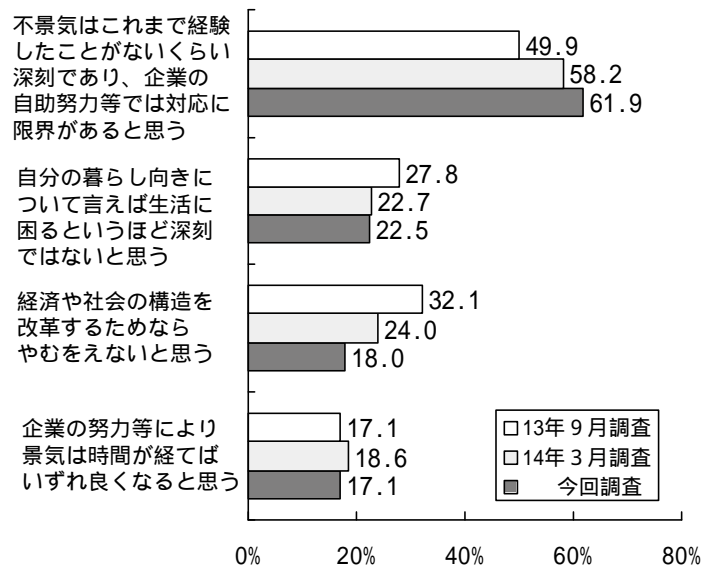
景気判断の方法についてみると、「マスコミを通じて」との回答が前回調査比減少した。これを景況感に対する回答者別にみると、景気は「変わっていない」と回答した人では、「マスコミを通じて」判断したとの回答が最も多くなっている一方、景気は「悪くなっている」と回答した人では、「勤め先や自分の店の経営状況から」、「自分や家族の収入の状況から」との回答が「マスコミを通じて」との回答を上回っている。

景気の受け止め方についてみると、約6割が「これまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは対応に限界があると思う」と回答した。一方、「経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う」との回答は前回調査比減少した。

(図表 2) 景気判断の方法 (%、2 つまでの複数回答) [問 3]



(図表 3) 景気の受け止め方 (%、複数回答) [問 4]



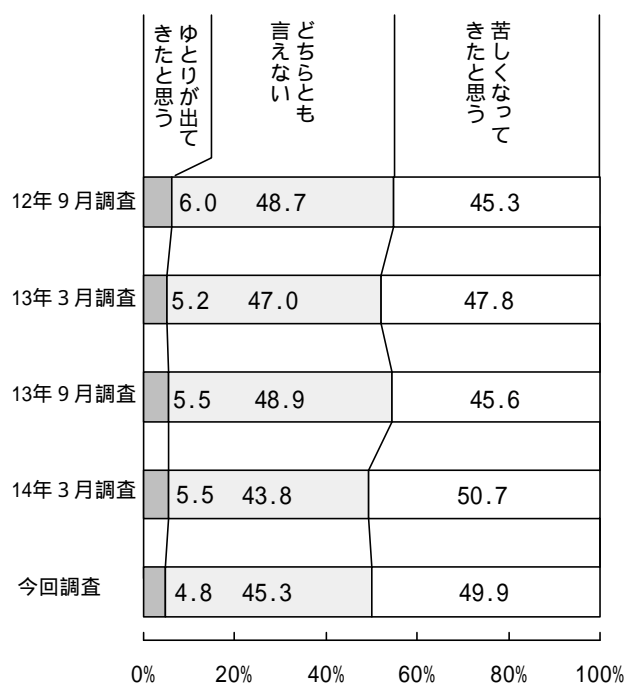
2.暮らし向き、消費意識

(1)現在の暮らし向き

暮らし向き（1年前対比）については、「苦しくなってきた」との回答が前回調査に続いて全体の5割近くを占めており、D.I.（「ゆとりが出てきた」 - 「苦しくなってきた」）も前回調査並みの水準となった。

前述の景況感D.I.（「良くなっている」 - 「悪くなっている」）が改善した一方、暮らし向きD.I.には改善の動きはほとんどみられていない。

(図表4)現在の暮らし向き(%)〔問18〕



<暮らし向きD.I.の推移>

	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	13年9月調査	14年3月調査	今回調査
暮らし向きD.I. (前回比)	-42.5	-49.4 (-6.9)	-42.2 (+7.2)	-42.9 (-0.7)	-41.1 (+1.8)	-39.4 (+1.7)	-42.6 (-3.2)	-40.1 (+2.5)	-45.2 (-5.1)	-45.1 (+0.1)
景況感D.I. (前回比)	-70.5	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)	-71.6 (-15.1)	-68.2 (+3.4)	-53.2 (+15.0)

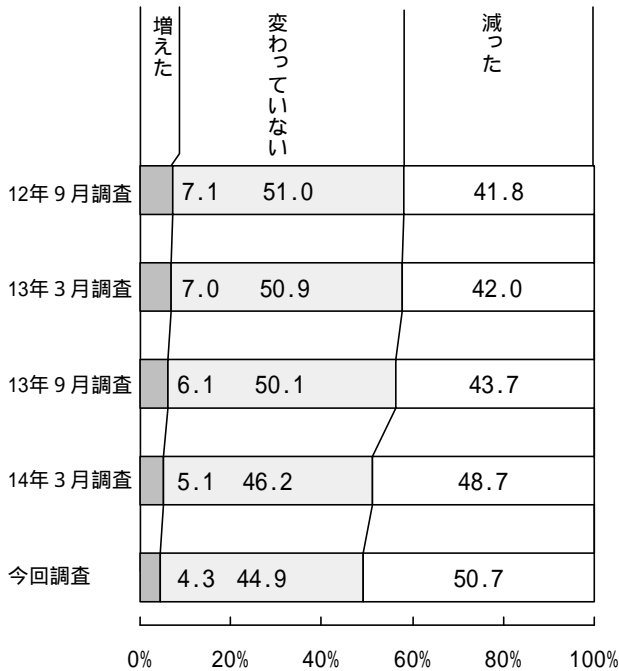
(2) 収入

収入(1年前対比)については、「減った」との回答が増加したことから、D.I.(「増えた」-「減った」)は悪化し、「減った」超幅が調査開始以来最大となった。

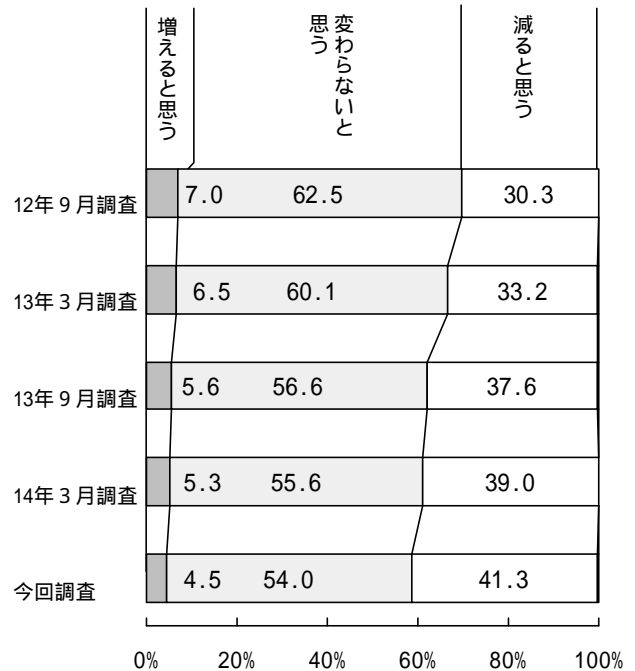
1年後までの先行きに関するD.I.(「増えると思う」-「減ると思う」)も同様に悪化し、「減ると思う」超幅が調査開始以来最大となった。

(図表5) 収入(%) [問7、8]

< 現在を1年前と比べると >



< 1年後を現在と比べると >



< 収入D.I.の推移 >

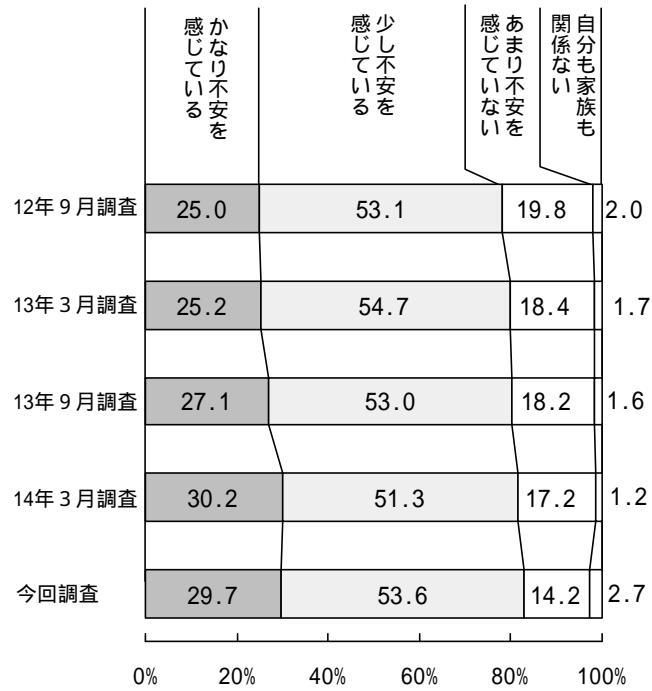
	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	13年9月調査	14年3月調査	今回調査
現在	-11.9	-10.0	-22.8	-37.0	-34.2	-39.3	-37.1	-34.7	-35.0	-37.6	-43.6	-46.5
(前回比)		(+1.9)	(-12.8)	(-14.2)	(+2.8)	(-5.1)	(+2.2)	(+2.4)	(-0.3)	(-2.6)	(-6.0)	(-2.9)
1年後の予想		-7.6	-21.0	-29.8	-23.1	-27.1	-26.5	-23.3	-26.7	-32.0	-33.7	-36.8
(前回比)			(-13.4)	(-8.8)	(+6.7)	(-4.0)	(+0.6)	(+3.2)	(-3.4)	(-5.3)	(-1.7)	(-3.1)

(3) 雇用環境

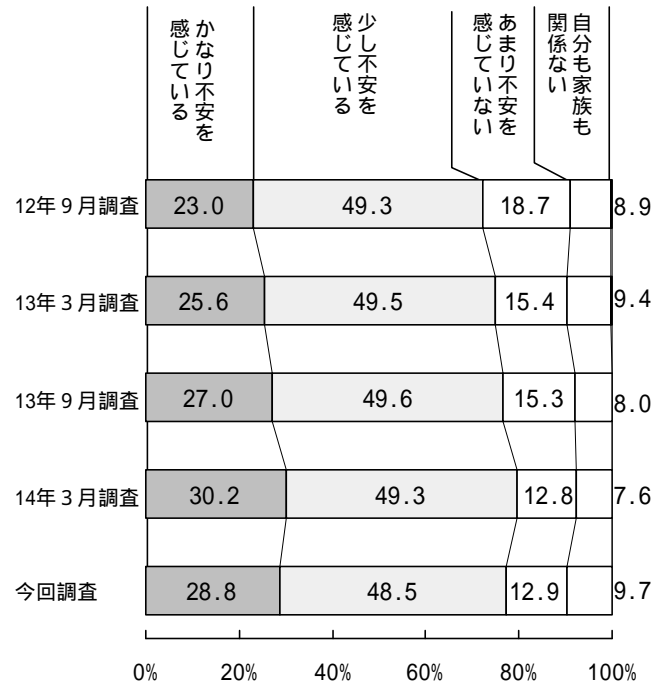
勤労者で勤め先の雇用・処遇について「不安を感じている」^(注)との回答は全体の8割強、勤め先の経営や自らが営んでいる事業に「不安を感じている」との回答は8割弱となった。

(注)『不安を感じている』は、「かなり不安を感じている」と「少し不安を感じている」の合計。

(図表6) 勤め先での雇用・処遇についての不安
(%、勤労者)[問22]



(図表7) 勤め先の経営や自分の事業についての不安(%)[問20]



(4) 支出

支出に関するD.I.(1年前対比、「増やしている」-「減らしている」)は前回調査比ほぼ横這いとなった。

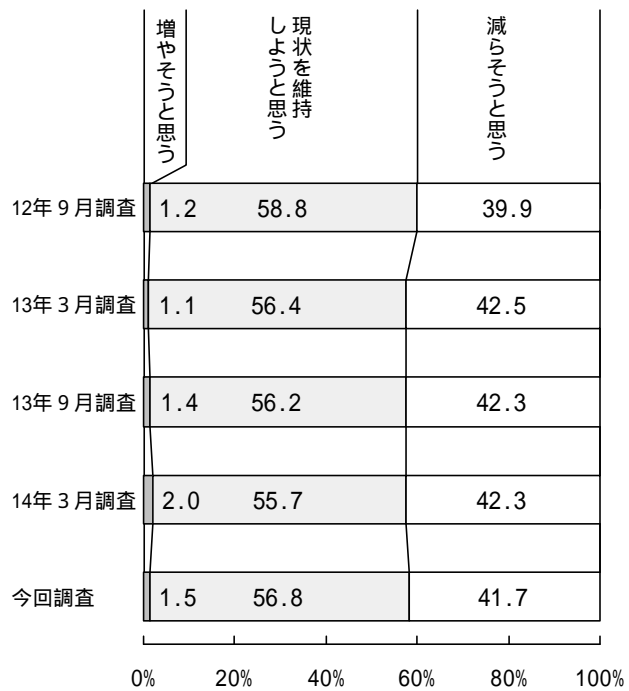
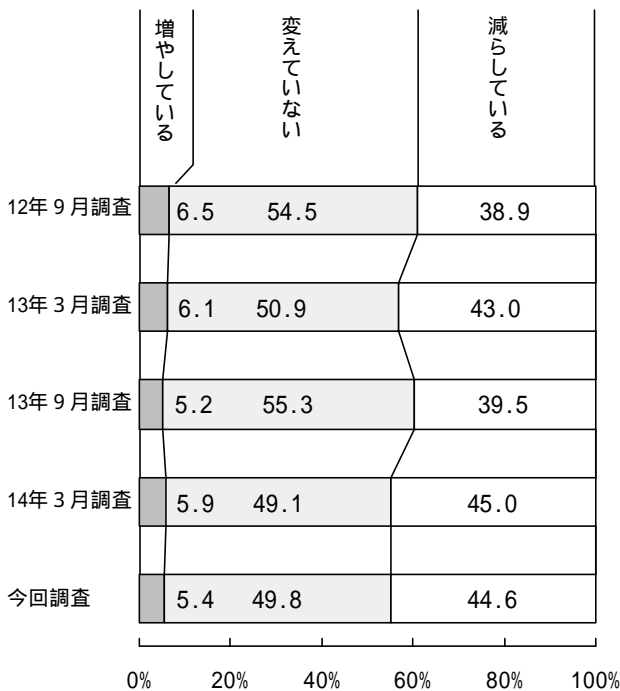
1年後までの先行きに関するD.I.(「増やそうと思う」-「減らそうと思う」)もほぼ横這いとなっている。

1年前に比べ支出を減らしたと回答した人にその理由を尋ねたところ、「将来の仕事や収入に不安があるから」との回答が最も多く、前回調査比では、「年金や社会保障の給付が少なくなる」との不安から、「低金利で金利収入が少ないから」との回答が増加した。

(図表8) 支出(%) [問9、11]

< 現在を1年前と比べると >

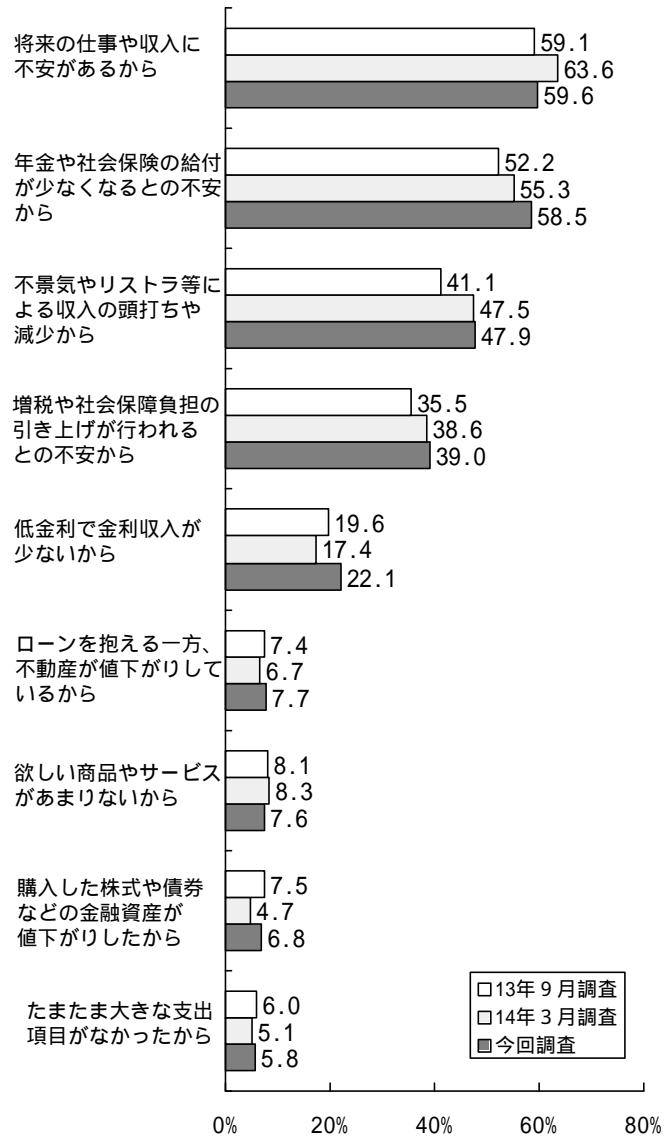
< 1年後を現在と比べると >



< 支出D.I.の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	13年3月調査	13年9月調査	14年3月調査	今回調査
現在	-38.4	-16.7	-34.7	-36.0	-35.8	-35.4	-35.4	-32.4	-36.9	-34.3	-39.1	-39.2
(前回比)		(+21.7)	(-18.0)	(-1.3)	(+0.2)	(+0.4)	(±0.0)	(+3.0)	(-4.5)	(+2.6)	(-4.8)	(-0.1)
1年後の予想	-49.7	-38.6	-40.9	-43.6	-41.3	-37.8	-38.5	-38.6	-41.4	-41.0	-40.2	-40.2
(前回比)		(+11.1)	(-2.3)	(-2.7)	(+2.3)	(+3.5)	(-0.7)	(-0.1)	(-2.8)	(+0.4)	(+0.8)	(±0.0)

(図表9) 支出を減らしている理由(%, 複数回答)[問9-b]



3. 物価に対する実感

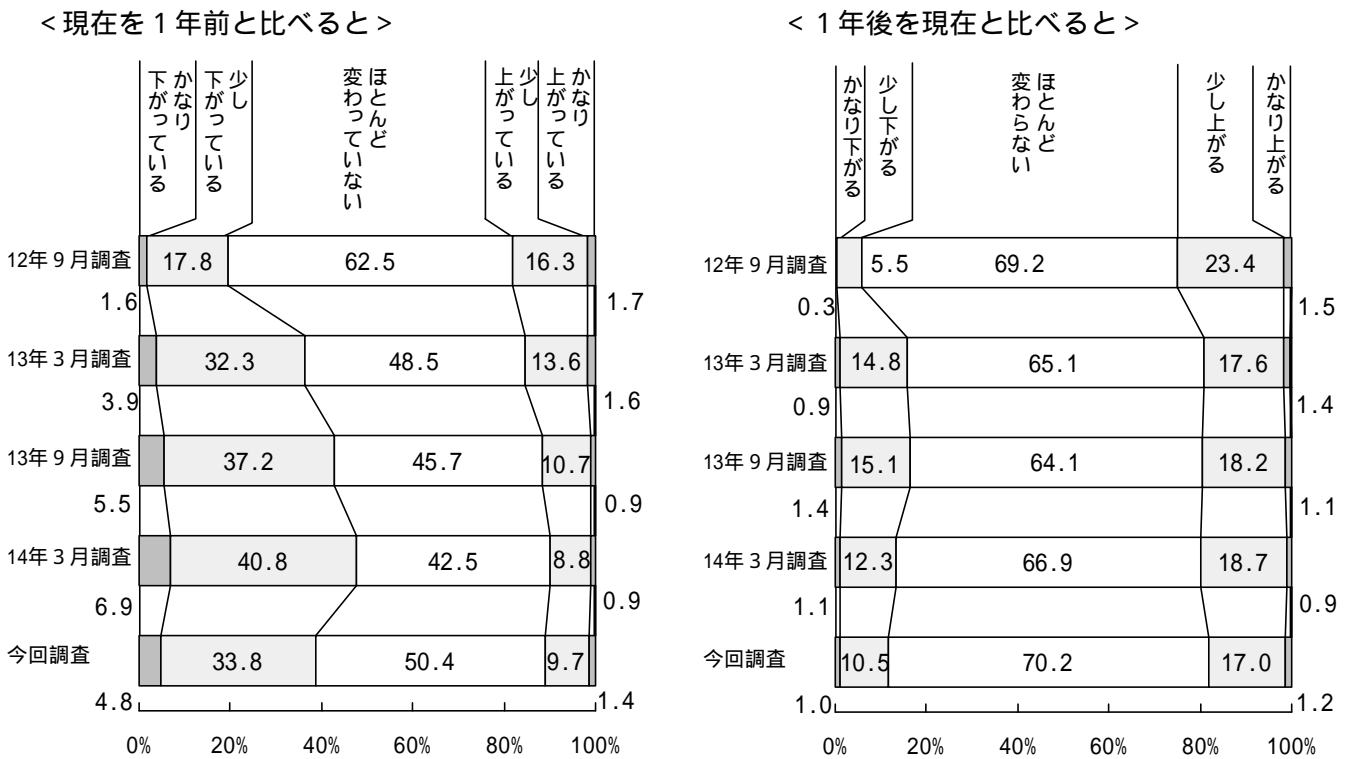
物価に対する実感（1年前対比）は、「物価は下がっている」^(注)との回答が減少し、「ほとんど変わっていない」との回答が増加した。一方、1年後までの変化については、「ほとんど変わらない」との回答が全体の7割を占めている。

物価が下がっていることについては、「どちらかといえば困ったことだと思う」との回答が2割強であったのに対し、「どちらかといえば好ましいことだと思う」との回答は4割弱となった。前回調査比では、「どちらかといえば困ったことだと思う」との回答が増加し、「どちらかといえば好ましいことだと思う」との回答は減少した。

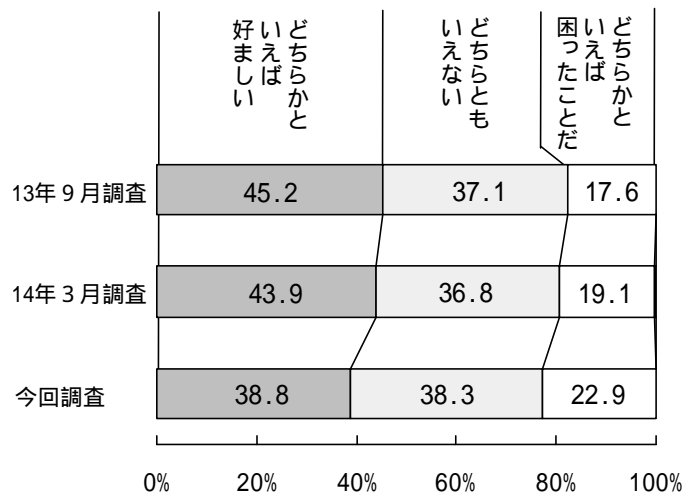
(注)『物価は下がっている(下がる)』は、「かなり下がっている(下がる)」と「少し下がっている(下がる)」の合計。

『物価は上がっている(上がる)』は、「かなり上がっている(上がる)」と「少し上がっている(上がる)」の合計。

(図表10) 物価騰落に対する実感(%)〔問14、16〕



(図表11) 物価下落についての感想(%)〔問14-a〕

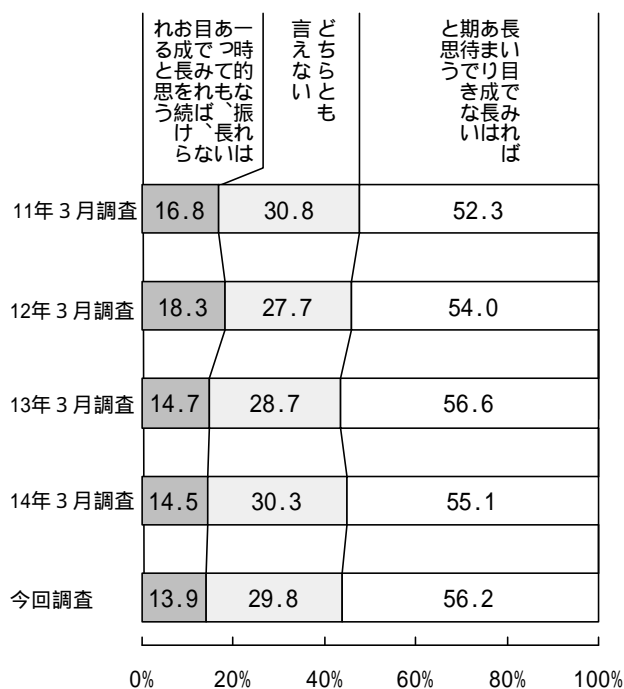


4. 日本経済の成長力に対する評価

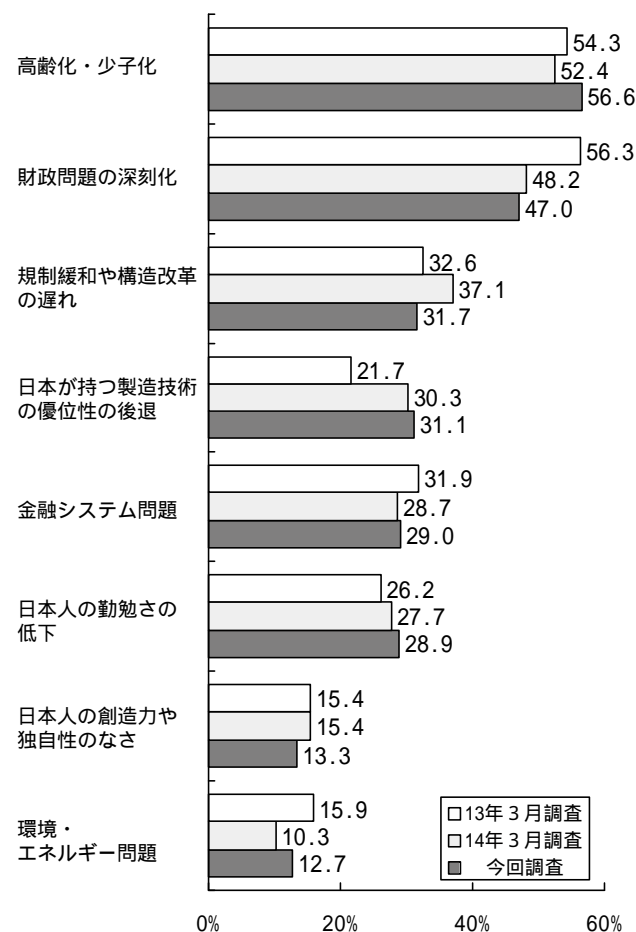
日本経済の成長力に対する評価は、「長い目でみればあまり成長は期待できないと思う」との回答が半数以上を占めており、「一時的な振れはあっても、長い目でみれば、なお成長を続けられると思う」との回答は減少傾向にある。

成長が期待できない理由としては、「高齢化・少子化」との回答が最も多く、「財政問題の深刻化」、「規制緩和や構造改革の遅れ」、「日本が持つ製造技術の優位性の後退」、「金融システム問題」の順となった。

(図表 12) 日本経済の成長力に対する評価
(%) [問 19]



(図表 13) 「あまり成長は期待できない」と回答した人の理由 (%)、3つまでの複数回答) [問 19-b]



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査 (第15回)

N (Number of cases) は、当該質問における回答対象者数。
選択肢ごとに付記した太文字の数值は、当該質問における回答対象者数を100としたときの各選択肢の回答比率 (単位%、小数第2位四捨五入^(注))。
NA (Not Available) は、当該質問における無回答者の比率。

(注) 四捨五入の関係から、単数回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも100にはならない。

問1. 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。(は3つまで)

< N = 3,138 >

1 景気	71.7	7 金融システム問題	9.1
2 雇用、収入	41.2	8 財政、税金	24.7
3 物価	23.7	9 高齢化、少子化	42.0
4 地価	4.4	10 構造改革、規制緩和	11.3
5 株価	9.0	11 産業空洞化、国際競争力	8.4
6 金利	19.9	12 その他	2.2

(NA 0.2)

問2. 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う
1.1	44.7	54.3

(NA 0.0)

問3. そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(は2つまで)

< N = 3,138 >

1 マスコミを通じて	33.9	5 商店街、盛り場等の混み具合	27.6
2 景気関連指標、経済統計をみて	16.7	をみて	
3 勤め先や自分の店の経営状況から	38.5	6 なんとなく漠然と	5.4
4 自分や家族の収入の状況から	37.0	7 その他	2.8

(NA 0.0)

(問2で「3 悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問4. 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(はいくつでも)

< N = 1,703 >

1 企業の努力等により、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	17.1
2 経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	18.0
3 自分の暮らし向きについて言えば生活に困るといほど深刻ではないと思う	22.5
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力等では対応に限界があると思う	61.9
5 その他	8.5

(NA 0.4)

(全員にお聞きします)

問5 . 1年後の景気は、現在と比べてどうなると思いますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う	
5.3	68.9	25.8	(NA 0.0)

問6 . 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。(は2つまで)

< N = 3,138 >

1 企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している	40.3
2 現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない	51.1
3 預金等から受け取る利子が少ないのがつらい	43.1
4 受け取る利子は少ないが、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない	8.0
5 住宅ローン等の借入れをしようと考えている(あるいは、既にしている)ので金利負担が小さいのは、助かる	10.0
6 その他	3.7
	(NA 0.2)

問7 . 1年前と比べて、あなた(またはご家族)の収入はどうなりましたか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	
増えた	変わらない	減った	
4.3	44.9	50.7	(NA 0.1)

問8 . 1年後のあなた(またはご家族)の収入は、現在と比べてどうなると思いますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	
増えると思う	変わらないと思う	減ると思う	
4.5	54.0	41.3	(NA 0.2)

問9 . 1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）

< N = 3,138 >

1
増やしている
5.4

2
変わらない
49.8

3
減らしている
44.6

(NA 0.1)

(問10へ)

(問9で 1 と答えた方にお聞きします)

(問9で 3 と答えた方にお聞きします)

問9-a . 支出を増やしているのはなぜですか。 < N = 170 > (はいくつでも)	
1	収入が増えているから 11.8
2	将来、収入が増えると見込まれるから 5.3
3	減税等に伴い、家計の負担が減少したから 1.2
4	今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから 3.5
5	購入した家等の不動産が値上がりしたから 0.6
6	購入した株式や債券等の金融資産が値上がりしたから 0.6
7	低金利で住宅ローン等の返済額が減少したから 0.0
8	欲しい商品やサービスがあるから 26.5
9	たまたま大きな支出項目があったから 65.3
10	なんとなく 12.4

(NA 0.0)

問9-b . 支出を減らしているのはなぜですか。 < N = 1,401 > (はいくつでも)	
1	不景気やリストラ等のために収入が頭打ちになったり、減っているから 47.9
2	将来の仕事や収入に不安があるから 59.6
3	今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から 58.5
4	将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から 39.0
5	住宅ローンを抱える一方で、購入した家等の不動産が値下がりしたから 7.7
6	購入した株式や債券等の金融資産が値下がりしたから 6.8
7	低金利で金利収入が少ないから 22.1
8	欲しい商品やサービスがあまりないから 7.6
9	たまたま大きな支出項目がなかったから 5.8
10	なんとなく 1.1

(NA 0.2)

(全員にお聞きします)

問10 . 問9の支出を、(1)生活費や教育費等日常的な支出（生活していくためのお金）と、(2)趣味やレジャー等選択的な支出（(1)以外のお金）の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。（ はそれぞれ1つ）

< N = 3,138 >

	[1] 切り詰めている	[2] 減らしている （ なんとなく ）	[3] 変えていない	[4] 増えている （ やむなく ）	[5] 増やしている
(1) 生活費や教育費等日常的な支出 (生活していくためのお金)	25.9	26.9	36.1	10.7	0.4
(2) 趣味やレジャー等選択的な支出 ((1)以外のお金)	32.5	32.5	29.3	4.2	1.5

(1) … (NA 0.1)

(2) … (NA 0.1)

問11. 今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3
増やそうと思う	現状を維持しようと思う	減らそうと思う
1.5	56.8	41.7

(NA 0.1)

問12. あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(はいくつでも)

< N = 3,138 >

1 所得税減税	36.2
2 消費税率の引下げ	37.7
3 住宅ローン、教育ローン等がある人を対象とした政策減税	13.5
4 雇用や収入の不安の解消	45.6
5 金融システム不安の解消	18.7
6 年金改革や財政赤字等に対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	34.2
7 預貯金金利の上昇	32.9
8 デフレの解消	15.7
9 その他	2.5
10 支出を増やすつもりはない	12.1

(NA 0.1)

問13. 支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(は2つまで)

< N = 3,138 >

1 基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	64.8
2 現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	45.4
3 商品やサービスの価格が、今後値上がりするか値下がりするかの予想によって、支出は変わると思う	7.6
4 住宅等の不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.0
5 株式や投資信託等を持っているので、株価の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.2
6 税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	30.7
7 買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	12.7
8 似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	3.4

(NA 0.3)

問14. 物価についてお聞きします。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	4	5
かなり 下がっている	少し 下がっている	ほとんど 変わっていない	少し 上がっている	かなり 上がっている
4.8	33.8	50.4	9.7	1.4

(NA 0.0)

(問15へ)

(問14で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問14-a. 物価が下がっていることについて、あなたはどのように思いますか。(は1つ)

< N = 1,210 >

1	2	3
どちらかと言えば 好ましいことだと思う	どちらかと言えば 困ったことだと思う	どちらとも言えない
38.8	22.9	38.3

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問15. あなたは、問14で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

< N = 3,138 >

(は3つまで)

1 食料品の値段	74.6	6 住宅の建設・修繕費や家賃	12.6
2 日用品の値段	57.0	7 旅行やレジャーの値段	13.4
3 電気製品、自動車等の耐久消費財の値段	23.0	8 病院の診察費や薬の値段	24.5
4 交通機関の運賃	10.7	9 学校や教育サービスの値段	5.3
5 電気、ガス、水道料金等の公共料金	27.0	10 その他	2.5

(NA 0.1)

問16. 1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	4	5
かなり下がる と思う	少し下がる と思う	ほとんど変わら ないと思う	少し上がる と思う	かなり上がる と思う
1.0	10.5	70.2	17.0	1.2

(NA 0.1)

問17. 今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1 以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	7.6
2 現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	44.0
3 依然として高いので、まだ下がると思う	20.2
4 わからない	27.9

(NA 0.2)

問 18. あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのように感じになっていますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1
どちらかと言えば、
ゆとりが出てきたと思う

4.8

2
どちらかと言えば、
苦しくなってきたと思う

49.9

3
どちらとも言えない

45.3

(NA 0.0)
(問19へ)

(問18で 1 と答えた方にお聞きします)

問18-a. その理由は次のうちのどれですか。
< N = 150 > (はいくつでも)

1	給与等の定期的な収入が増えたから	41.3
2	利子等のその他収入が増えたから	6.7
3	土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから	0.0
4	物価が下がっている、あるいは、安定しているから	25.3
5	保有する株式・不動産等の資産の価格が上がったから	1.3
6	扶養家族が減ったから	26.0
7	その他	18.7

(NA 0.0)

(問18で 2 と答えた方にお聞きします)

問18-b. その理由は次のうちのどれですか。
< N = 1,566 > (はいくつでも)

1	給与等の定期的な収入が減ったから	71.9
2	利子等のその他収入が減ったから	24.5
3	土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから	7.2
4	物価が上がっているから	11.2
5	保有する株式・不動産等の資産の価格が下がったから	9.5
6	扶養家族が増えたから	10.2
7	その他	19.8

(NA 0.1)

(全員にお聞きします)

問19. あなたは、日本の経済の成長力について、どうお考えですか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1
一時的な振れはあっても、
長い目でみれば、なお成長
を続けられると思う

13.9

2
長い目でみればあまり成長
は期待できないと思う

56.2

3
どちらとも言えない

29.8

(NA 0.1)
(問20へ)

(問19で 1 と答えた方にお聞きします)

問19-a. なお成長を続けられる理由として考えられる事柄はどれですか。
< N = 436 > (は2つまで)

1	日本が持つ製造技術の優位性	64.2
2	日本人の創造力や独自性	22.9
3	日本人の勤勉さ	31.2
4	規制緩和や構造改革の進展	24.3
5	女性や高齢者の労働力化の進展	13.5
6	コンピューター等情報化の進展	25.0
7	その他	1.6

(NA 0.0)

(問19で 2 と答えた方にお聞きします)

問19-b. あまり成長を期待できない理由として考えられる事柄はどれですか。
< N = 1,764 > (は3つまで)

1	日本が持つ製造技術の優位性の後退	31.1
2	日本人の創造力や独自性のなさ	13.3
3	日本人の勤勉さの低下	28.9
4	規制緩和や構造改革の遅れ	31.7
5	高齢化・少子化	56.6
6	環境・エネルギー問題	12.7
7	金融システム問題	29.0
8	財政問題の深刻化	47.0
9	その他	4.9

(NA 0.1)

(全員にお聞きします)

問20. あなた(またはご家族)の勤め先の経営、あるいは、あなた(またはご家族)が営んでいる事業に不安を感じていますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
12.9	48.5	28.8	9.7
(NA 0.1)			

問21. あなた(またはご家族)のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	4
行われた	まだ行われていないが、今後行われる予定である	行われていないし、今後行われる予定もないと思う	わからない
33.0	12.6	20.7	33.6
(NA 0.2)			

↓ (問22へ)

(問21で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問21-a. 具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。(はいくつでも)

< N = 1,430 >

1	時間外労働の削減	38.3
2	給与カットや賃金制度の見直し	63.7
3	新卒採用の抑制	24.5
4	出向や早期退職勧奨等による人員の削減	30.7
5	ポストの削減や組織の改革	23.4
6	人事、資格制度の見直し	20.4
7	ワークシェアリング	4.4
8	その他	7.4
9	予定されているが、具体的にはわからない	3.6

(NA 0.3)

(全員にお聞きします)

問22. あなた(またはご家族)の勤め先での雇用・処遇(給与、昇格、福利厚生等)に不安を感じていますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
13.6	46.9	26.2	13.0
(NA 0.3)			

問 23 . あなたのご家族の中で、就職・再就職を考えている方は(あなた自身を含めて)いらっしゃいますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1
いる
33.2

2
いない
66.8
↓
(問24へ)

(NA 0.1)

(問23で 1 と答えた方にお聞きします)

問23-a . あなた(またはその方)の就職・再就職に不安を感じていますか。(は1つ)

< N = 1,041 >

1	あまり不安を感じていない	4.9
2	少し不安を感じている	38.6
3	かなり不安を感じている	56.5

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問24 . マイホームの購入・買い替えを具体的に計画していますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1 いまのところ購入・ 買い替えの計画はない	2 はじめてマイホームを 購入する計画がある	3 買い替えの計画 がある	4 セカンドハウスを購入 する計画がある
92.2	3.8	3.3	0.7

(NA 0.1)

↓
(問25へ)

↓
(問24で 2 ~ 4 のいずれかを
答えた方にお聞きします)

問24-a . いつごろ購入・買い替えをしようと
計画していますか。(は1つ)

< N = 243 >

1	今年中	12.8
2	来年中	15.6
3	再来年以降	16.5
4	時期についてはまだ考えてい ない	53.9

(NA 1.2)

(全員にお聞きします)

問25. あなたには、住宅ローンや消費者ローン等の借入金がありますか。(は1つ)

< N = 3,138 >

1
あ る
35.1

2
な い
64.7

(NA 0.2)



(問25で 1 と答えた方にお聞きします)

問25-a. 1年前と比べて、借入金の負担感はどのように変わりましたか。

< N = 1,102 >

(は1つ)

1	増している	28.9
2	変わらない	59.3
3	減っている	11.6

(NA 0.3)

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについておうかがいします。

〔 立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。 〕

F 1 . あなたの性別は。

< N = 3,138 >

1	2
男	女
48.6	51.4

(NA 0.0)

F 2 . あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

< N = 3,138 >

1	2	3	4	5	6
20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
12.0	15.5	16.9	22.4	19.6	13.6

(NA 0.0)

F 3 . 結婚していらっしゃいますか。

< N = 3,138 >

1	2	3
既婚(配偶者あり)	既婚(配偶者と離別・死別)	未婚
73.4	10.6	15.8

(NA 0.2)

F 4 . あなたのご職業は。(は1つ)

< N = 3,138 >

自営業・ 家族 従業者	1 農林漁業	3.4	勤 労 者	4 管理職	5.1	無 職 者	10 専業主婦	13.8
	2 商工・サービス業	9.1		5 専門技術職・教員	9.2		11 学生	1.3
	3 自由業	3.3		6 事務職	8.3		12 年金・恩給生活者	14.9
				7 労務職	8.6		13 その他無職	5.0
			8 販売・サービス職	7.7				
			9 パート勤め	9.9				
15.8		48.8			35.1			

(NA 0.3)

(F 4 で 1 ~ 10 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 4-a . あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。パート勤めの方は、お宅の中で主として生計を支えていらっしゃる方の業種について、専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。(は1つ)

< N = 2,462 >

1 農林漁業	5.1	6 金融・保険業	3.4
2 製造業	19.8	7 電気・ガス・水道業	2.2
3 卸・小売業、飲食店	10.4	8 サービス業	17.6
4 運輸・通信業	6.5	9 公務員	7.7
5 建設・不動産業	10.8	10 その他	15.6

(NA 1.0)

(全員にお聞きします)

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

(夫婦で同じ程度という場合等は、「1 はい」につけてください。)

< N = 3,138 >

1	2
はい	いいえ
53.5	46.2

(NA 0.3)

F 6 . あなた(および配偶者)の昨年1年間の収入(税込み)は、次のどの区分に入りますか。

(ただし、退職金や土地の売却代金等一時的な収入は除いてください。)(は1つ)

< N = 3,138 >

1 収入はない	6.2	4 1,000万円~1,500万円未満	4.5
2 500万円未満	58.8	5 1,500万円以上	1.3
3 500万円~1,000万円未満	26.3		

(NA 2.9)

F 7 . あなた(および配偶者)は収入(生活費)をどのようなかたちで得ていますか。

最も金額の多いものをお選びください。(は1つ)

< N = 3,138 >

1 給料(賃金)	63.0	6 株式等の配当や運用益	0.0
2 事業からの収益	8.1	7 預金等貯蓄の取り崩し	0.7
3 アパート等の不動産からの 賃貸料	1.2	8 家族や国等からの援助	1.9
4 年金	22.1	9 その他	1.3
5 利子収入	0.0	10 収入はない	1.2

(NA 0.4)

F 8 . あなた(および配偶者)の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた
預貯金、信託、保険、株式、債券、投信等の合計額でお答えください。なお、生命保険、損
害保険、共済については掛け捨て型のもので除いてお答えください。(は1つ)

< N = 3,138 >

1 貯蓄はない	20.8	4 1,000万円~2,000万円未満	10.3
2 500万円未満	40.6	5 2,000万円以上	8.6
3 500万円~1,000万円未満	14.7		

(NA 5.0)

F 9 . あなた(および配偶者)の借入残高は、次のどの区分に入りますか。(は1つ)

(注)クレジットカードを利用したの買い物や事業目的の借入れは除きます。

< N = 3,138 >

1 借入金はない	63.2	4 1,000万円~2,000万円未満	8.0
2 500万円未満	14.7	5 2,000万円~5,000万円未満	5.4
3 500万円~1,000万円未満	5.2	6 5,000万円以上	0.8

(NA 2.8)

F 10 . 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。(は1つ)

< N = 3,138 >

1 1人住まい世帯	6.9	4 親と子と孫の3世代世帯	17.1
2 夫婦だけ世帯	23.6	5 その他	6.1
3 親と子の2世代世帯	45.9		

(NA 0.4)

F 11 . あなた（またはご家族）のお住まいは、次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。（ は1つ）

< N = 3,138 >

1 土地付き持ち家	69.8	4 借家（一戸建）	4.7
2 持ち家のマンション	6.1	5 賃貸マンション・アパート	14.1
3 借地持ち家	3.4	6 社宅、官舎、寮	1.8

（ NA 0.2）

F 12 . あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。（ は1つ）

< N = 3,138 >

1 熱心に見る	2 あまり見ない	3 まったく見ない
24.7	59.0	16.0

（ NA 0.3）